

事例を知って、自分たちができる「農福連携のヒント」を見つけよう

農福連携 交流セミナー

参加費
無料

農福連携は、農業と福祉が連携し、障害者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障害者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組です。本県では、令和3年3月に策定した「農林水産ビジョン2030」において、農福連携の取組強化を施策に位置づけました。

このような中、農業と福祉が相互に理解を深めるため、農福連携の先進事例等を学び、農業者と福祉事業者が、お互いを知る機会として、全県段階における農福連携交流セミナーを開催します。

日時

令和4年2月7日(月)
13:30~16:45

「農福ってなに?」「どんな取組なの?」「何から取り組んだらいいの?」の答えを見つけよう!

形式

オンライン

<オンライン配信について>

- 参加者には、当日までに参加用 URL を送付します。
- 参加状況を確認するため、当日は所属・氏名が分かるようにログインして下さい。

定員

100名(先着順)

プログラム ※内容は変更する場合があります。 進行：磯崎 博隆(兵庫県 総合農政課農林水産政策班長)

13:35~

講演「農業と福祉の融合から生まれるもの」

NPO 法人長野県セルフセンター協議会 農業就労チャレンジコーディネーター 沖村 さやか氏

沖村氏は、前職で中小企業と大企業 OB のマッチングをのべ400件以上実施、現職でも農福連携のマッチングをのべ400件以上実施されています。長野県での具体事例を基に、農業側と福祉側双方のメリットや課題、課題解決を図るためのポイント等を解説します。

14:40~

事例発表

I【施設外支援】	有限会社 アグリハイランド金谷	代表取締役	金谷 智之氏
II【直接雇用】	株式会社 北坂たまご	代表取締役	北坂 勝氏
III【加工受託】	社会福祉法人 協同の苑 くすのき	所長	立野 普巳子氏
IV【研修受講者】	農事組合法人 みやまえ営農	理事	平岡 健造氏

農福連携には、障害者就労施設による作業受託や加工業務の受託、農業経営体による障害者の雇用など、多様な取組形態があります。県内で多様な取組形態のモデルとなる先導的な取組事例の紹介や、新たにチャレンジを計画している事業者の動きをご紹介します。

16:00~

農福連携相談窓口の紹介

I【農業側窓口】	公益社団法人 ひょうご農林機構	農福連携コーディネーター	篠原 武己氏
II【福祉側窓口】	NPO 法人 兵庫セルフセンター	農福連携推進員	堂前 健太氏

農福連携に関する相談やマッチング等を支援するため、農業側と福祉側の双方に相談窓口を設置しています。窓口の担当者が、さらなるマッチング促進に向けて、日頃のサポート業務の内容などをご紹介します。

16:10~

意見交換

農福連携への理解を深めるため、発表者とセミナー参加者が意見交換を実施

共催：兵庫県、「農」イノベーションひょうご推進協議会
協力：(公社)ひょうご農林機構、NPO 法人兵庫セルフセンター

<お問い合わせ先>

TEL:078-362-9216 E-mail:sougounousei@pref.hyogo.lg.jp

担当：総合農政課 農林水産政策班 山本、久後

参加方法 裏面の申込表によりお申込み下さい 期限：1月31日(月)15時 必着

